

# KPEC news

Kitakyushu Prosperity Enrichment Council

Vol.65  
2020.7.1



## Contents

- 01 北九州活性化協議会(KPEC)の概要
- 02 KPEC設立30周年記念事業報告
- 03~04 北九州地域産業人材育成フォーラム事業
- 05~06 1000人の夢寄金事業
- 07 北九州の企業人による小学校応援団事業
- 08 もったいない総研事業
- 09~10 北九州イノベーションギャラリー指定管理事業

表紙写真:龍の尾橋(八幡東区西台良町)

この橋は、皿倉山を水源とする平野川に架かっているアーチ橋で、表面は花崗岩の化粧貼りを施していますが、主体部は製鐵所製造の鉱滓煉瓦が使われており、昭和6年3月に竣工しています。

この橋の外観、構造から河内貯水池や中河内橋等を設計・施工した技術者集団が深く関与しているものと考えられます。

また、昭和28年の大水害にも耐え、今なお現役で使用されています。



## KPECとは 公益財団法人 北九州活性化協議会(KPEC)の概要

KPECは北九州の活性化のために、市民・団体・行政の力が結集して生まれた民間組織です。平成元年に設立され、平成31年4月に設立30周年を迎えました。

### KPECの理念

北九州市の真の活性化実現を目指し、市民の声、若い世代の力、大学、企業、経済団体の英知と活動力を一つにまとめる連携軸としての役割を担い、行政および関係団体と緊密な連携を図りながら、北九州市の確かな未来づくりに向かって行動する団体です。

### KPECの役割と機能

産学官民の連携軸として、さまざまな人・組織が主体的に参加する北九州活性化の“新しいしくみ創り”を民間主導で実施します。

#### 社会的課題

- ・少子高齢化
- ・中小企業振興
- ・雇用創出
- ・教育環境改善
- ・都市格向上 等



### KPECの事業

北九州市の「都市力」「都市格」向上を目指して、5つの事業に取り組んでいます。

北九州地域産業人材育成フォーラム

産学官連携により、産業人材を育成する事業

1000人の夢寄金

北九州の都市格(教育力・文化力)を向上する事業

北九州の企業人による小学校応援団

北九州の企業人が明日を担う子どもたちを支援する事業

もったいない総研

環境を未来に引継ぐ事業

北九州イノベーションギャラリー指定管理

産業技術の保存継承・イノベーター育成事業

# KPEC設立30周年記念事業を開催!

KPECは平成31年4月に設立30周年を迎え、これを記念して、設立30周年記念事業を開催しました。記念講演会、記念祝賀会にご出席賜りました会員、ご来賓のみなさまに厚く御礼申し上げます。

## KPEC30周年記念特別講演会

令和元年10月7日(月)北九州国際会議場のメインホールにおきまして、北九州市および関連団体と共にKPEC30周年記念特別講演会『世界に広がる北九州の明日を考える講演会』を開催し、328名のみなさまにご出席いただきました。

前経済同友会代表幹事小林喜光氏(三菱ケミカルホールディングス取締役会長)をお招きし、『危機感なき茹でガエル日本』というテーマでご講演をいただき、激動する世界における日本の現状と、北九州がこれから向かうべき方向性を考える重要な機会となりました。



## KPEC30周年記念祝賀会

令和元年10月7日(月)にKPEC設立30周年を記念して、リーガロイヤルホテルで記念式典を開催しました。

会員のみなさまおよび北橋北九州市長をはじめ各団体のご来賓のみなさま124名にご臨席を賜り、盛大に開催しました。



## KPEC30周年記念誌発行

KPEC設立30周年を記念して、令和元年10月に「KPEC30年史」を発行しました。

“KPECの誕生までの物語”から“30年のあゆみ”を5ステージに分けて記載しています。



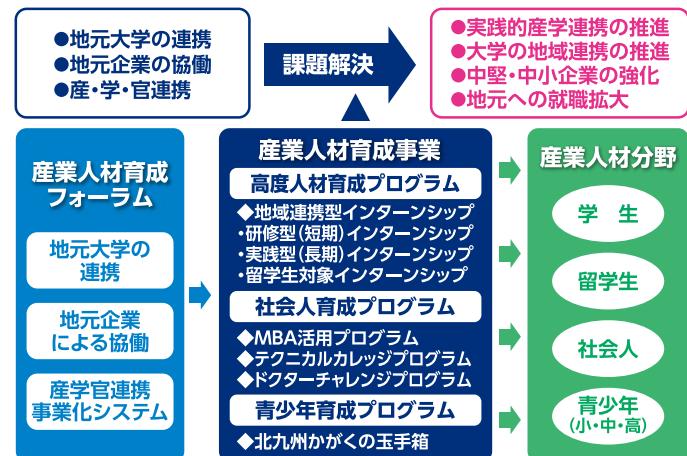
「KPEC30年史」をご希望の方は(公財)北九州活性化協議会まで電話・FAXまたはメールでご連絡ください。

【連絡先】TEL:093-541-3122 FAX:093-541-0636 E-mail:info@kpec.or.jp

## 北九州地域の産学官連携により、産業人材を育成する！

# 北九州地域産業人材育成フォーラム

平成23年5月に設立された『産業人材育成フォーラム』は“北九州地域の産学官連携により、産業人材を育成する”ことを目的に①高度人材育成を目的とした、各種インターンシップの実施 ②中堅・中小企業の中核技術者、経営人材の育成を目的とした、地域大学の大学院を活用した各種プログラムの実施 ③産学連携による早期工学教育の環境づくりを目的とした、ものづくりに関する教育機会づくりや早期工業教育の開発・実施と、国や北九州市が推進するインターンシップ、リカレント教育、まち・ひと・しごと創生総合戦略による地方創生インターンシップの推進等と連動した各種事業を実施しています。



## 地域連携型インターンシップ

### 研修型(短期)インターンシップ

“大学から職場・社会への円滑な移行の確保のための社会人基礎力の修得”と“地元中堅・中小企業の認知向上による就職機会の創出等”を目的に、「研修型(短期)インターンシップ」事業を実施しています。

#### <令和元年度研修型(短期)インターンシップ実績>

- ◇参加学校:6校
  - ・九州工業大学・北九州市立大学(国際環境工学部)
  - ・西日本工業大学・産業医科大学(産業保健学部)
  - ・早稲田大学(大学院情報生産システム研究科)
  - ・北九州工業高等専門学校
- ◇参加学生:76名
- ◇実施企業:39社

### 実践型(長期)インターンシップ

“実習先の企業でテーマを決め、学生と社員が協働して課題解決に取り組む”「実践型(長期)インターンシップ」を実施しています。

#### <令和元年度実践型(長期)インターンシップ実績>

- ◇参加学校:1校(九州工業大学)
- ◇参加学生:8名
- ◇実施企業:6社

#### “実施企業の声”

「学生のアウトプットのレベルが高い」と高い評価!

#### “参加学生の声”

「はじめから課題に興味が湧いた」

「日々、課題にチャレンジする事が楽しかった」

「もっとやりたいと思った」

## 北九州ものづくり企業研究会・交流会

学生や教員向けに、“北九州地域のものづくり企業を知る機会を提供する” “インターンシップ参加に向けての参加意識・参加意欲向上を図る” “企業と学生の相互理解によりインターンシップのミスマッチを予防する” “ものづくり企業への就職機会に繋げる”ことを目的に『北九州ものづくり企業研究会・交流会』を開催しています。

#### <令和元年度企業研究会・交流会実績>

##### 【ひびきの会場】

- ◇日 時:令和元年5月29日(水) 13:00~17:00
- ◇会 場:北九州学術研究都市会議場イベントホール
- ◇対象大学:北九州市立大学国際環境工学部  
九州工業大学生命体工学研究科
- ◇出展企業:21社
- ◇参加者数:企業研究会173名



##### 【戸畠会場】

- ◇日 時:令和元年6月1日(土) 13:00~19:00
- ◇会 場:九州工業大学 戸畠キャンパス
- ◇対象大学:九州工業大学、北九州市立大学  
西日本工業大学、北九州高専
- ◇出展企業:36社
- ◇参加者数:企業セミナー 275名  
企業研究会 277名  
企業交流会 119名



#### “参加学生の声”

参加した学生、企業ともに非常に満足度が高く、学生からは「多くの企業情報を得られた」と好評!



## 北九州ものづくり企業発見ツアー

“学生、大学教員及びスタッフの地元企業の認知向上”を目的とした、「北九州ものづくり企業見学ツアー」を北九州商工会議所の産業観光事業と連携して実施しています。

### <令和元年度北九州ものづくり企業発見ツアー実績>

- ◇見学企業:9社
- ◇参加学生:13名(4校)



#### “見学受入企業の声”

「少数での見学だったので団体時では入れない場所も見せることができた」「学生一人一人の声を聞く(会話をする)ことができた。

#### “参加学生の声”

「工場見学時に企業側の説明も聞きやすく、また質問もし易かった」  
「じっくり見学することができた」

## MBAサテライトフォーラム

### 採用力強化セミナー

北九州市立大学大学院マネジメント研究科(K2BS)と協業で“地元中堅・中小企業の採用力強化を目的”とした中堅・中小企業向け「採用力強化セミナー」を企画、開催しています。

地元中小企業経営者と大学生で検討チームを編成し、新卒に関する採用課題を3か月にわたるグループワークを通じて検討し、採用活動に向けての具体的プランを策定します。



### <令和元年度採用力強化セミナー実績>

- ◇日時・テーマ
  - DAY1 開催日:令和元年 9月5日(木)  
テーマ:企業の思いを伝える!
  - DAY2 開催日:令和元年 9月20日(金)  
テーマ:伝わるプロモーションとは?
  - DAY3 開催日:令和元年11月28日(木)  
テーマ:2020年度に向けたこれからの具体的取り組み!

- ◇参加者:企業参加者 24名(20社)  
学生参加者 20名



## MBA活用プログラム

### 中小企業の実践経営学講座・車座塾

北九州大学大学院マネジメント研究科(K2BS)の教員による、地域企業の経営分析(論文・レポート)を教材として、中小企業経営・管理者を対象にした「実践経営研究講座(車座塾)」を開催しています。

### <実践経営車座講座実績>

#### 【第6回】

- ◇テーマ:積極的な資源蓄積が差別化戦略と新規事業を創造する

- ◇参加者:16名

#### 【第7回】

- ◇テーマ:ターゲットはどこまで絞るか?  
～スタジアムパンツのペルソナとは～

- ◇参加社:14名

#### 【第8回】

- ◇テーマ:老舗企業の再ブランド化の戦略  
～ヤギシタ再生の次のステップは～

- ◇参加社:14名

## 北九州かがくの玉手箱 “かがたま”

平成30年度に開設した理工系イベント紹介ウェブサイト「北九州かがくの玉手箱(愛称:“かがたま”)」を利用して、小中学校等教育機関をはじめ、地域や市民へ理工系イベントの紹介を行っています。



### イベント紹介



詳細は「かがたまホームページ」をご覧ください。

<https://kagatama.org/>

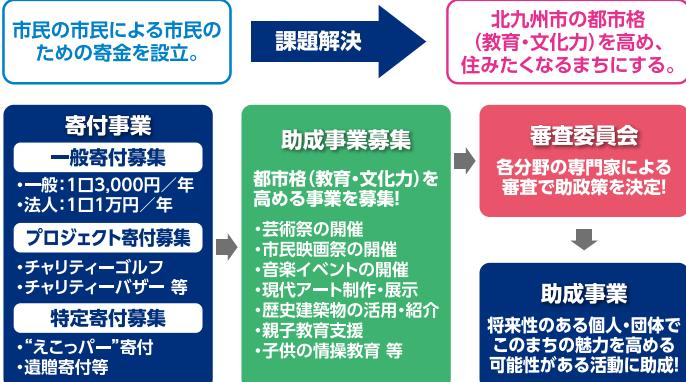
## 北九州の都市格(教育・文化力)を向上する!

# 1000人の夢寄金

『1000人の夢寄金』は(公財)北九州活性化協議会が平成24年10月に設立した、“市民の市民による市民のため”の民間寄金です。

北州市の都市格(教育力・文化力)を高めることを目的に、市民のみなさまからご寄付を賜り、ジャンルを問わず市民の教育・文化活動への支援を行っています。

この事業は今年度で8年目を迎え、令和元年度までに、累計1,471万円のご寄付をいただき、59件の助成先に1,304万円の助成を行いました。



## 寄付募集事業

平成31年4月から令和2年3月までの一年間で、「基本寄付事業」、「プロジェクト寄付事業」、「特定寄付」の寄付により、**173件**、合計**1,970千円**のご寄付をいただきました。

### 基本寄付事業

基本寄付事業は個人・団体は一口3,000円、法人は一口10,000円を基本として寄付募集を行いました。

◇令和元年度寄付金

件数:169件 金額:1,186千円

### プロジェクト寄付事業

プロジェクト寄付事業としてチャリティーバザー『クラフト・チクチク de マルシェとワークショップ』と『1000人の夢寄金 チャリティーゴルフコンペ』の二つの事業を展開しました。両事業ともにプロジェクト寄付事業の二本柱に成長しています。

◇第4回クラフト・チクチクdeマルシェとワークショップ>

◇開催日:令和元年10月25日(金)~26日(土)

◇場 所:北九州まなびとESDステーション

質の高い手仕事品販売(チャリティーバザー)やワークショップを開催しました。2日間で延べ300名以上にご来場いただき、売上のなかから経費を除いた**207千円**のご寄付をいただきました。

また、この事業から生まれた小倉織の端切れ生地を使った縫いぐるみ「縞縞(しましま)のシマウマ」「時時(ときどき)ヨコシマなカバ」が人気を得ています。これは、ボランティアグループ・シマウマ組が手作りしており購入が寄付になる縫いぐるみです。



令和元年度は59頭を販売し**177千円**のご寄付をいただきました。平成29年4月から令和2年3月までの売り上げ実績は累計320頭、寄付総額は960千円に達しています。現在、小倉織縞縞本店様で販売しています。また平成30年から、北州市のふるさと納税返礼品に選定されました。

<第5回1000人の夢寄金・チャリティーゴルフ>

◇開催日:令和元年11月6日(水)

◇会 場:若松ゴルフ俱楽部

澄みきった快晴の青空のもと、78名の参加者の皆様がプレーを楽しられ、総額**234千円**の寄付金をいただきました。楽しいプレーで盛り上がりいました!



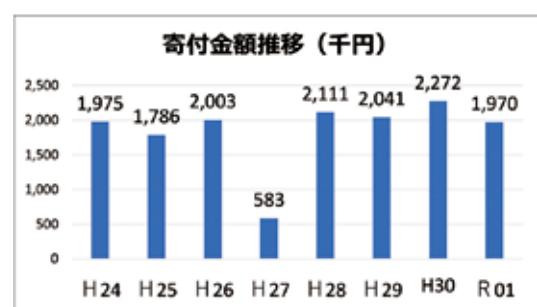
### 特定寄付事業

令和元年11月15日(金)北九州

紙「えこっパー」を製造・販売している大分製紙株式会社様より、1000人の夢寄金へ**200千円**のご寄付をいただきました。



### 特定寄付事業



## 助成事業

令和元年7月に一般公募を行い、応募件数9件の中から1000人の夢寄金審査委員会による審査を経て、第8回助成事業8件、助成金額合計2,000千円を決定しました。

また、審査にあたっては、インターネットによるWeb投票も実施しています。

### 第8回助成団体の事業概要（事業期間：令和元年10月1日から令和2年9月30日）

助成先	事業名	事業概略
NPO法人すきっちゃん北九州 代表 入門真生	あそぼう祭 in 北九州	「遊ぼう!」と「防災!」を組み合わせた子ども向けの防災啓発イベント。遊びの中で身近に「防災」を実感することが備えにつながることを目指す教育事業。
(一社)生き方のデザイン 研究所 代表理事 遠山昌子	子どもたちが主体的に生きるチカラをはぐくむ 「生き方のデザイン授業」	生き方のデザイナー（障害があることを強みに、自分らしい生き方をデザインしている人たち）による小中学校での授業を展開。子どもたちが「誰もが幸せに暮らすための取組や社会に貢献することを自分ごととして考える教育事業。
枝光まちなか芸術祭2019 実行委員長 鄭 慶一	枝光まちなか芸術祭2019	「枝光本町商店街アイアンシアター」および枝光本町商店街のまちなかでの作品上演や商店街屋台などを実施。地域のみなさんとアーティストと観客の交流により、芸術活動はもとより、地域の活性化も図る文化事業。
もじこう・アート・プラットフォーム 代表 池上貴弘	MAP 玄関口プロジェクト2018	国内およびアジアのアーティストやキュレーターと協働し、門司港の特性や地域課題をふんだんに取り入れた作品づくりや外への発信を繰り広げるプロジェクト。
NPO法人 あそびとまなび研究所 理事長 秋葉祐三子	Hibikino Green Learning project 2019 SDGs from Hibikino	北九州市内で最も5歳未満人口が多い若松区ひびきので、有機的に日々の子育てを支え、子どもたちの居場所を確保し、地域の大人や留学生も含めた学生が集い、学び、交流するための活動を展開する教育事業。
(一社)北九州青年経営者会議 ヤングサンタ実行委員会 代表 藤田拓之	第21回 ヤングサンタとチャリティー 吹奏楽コンサート	どんなに騒いでもOK。お母さんと一緒に赤ちゃんが参加できる吹奏楽コンサートと病気と闘う子どもたちや様々な理由で家族とクリスマスを迎えることのできない子どもたちにサンタクロースがプレゼントの本を届ける事業。
絵本カーニバル実行委員会 代表 村岡純	旅する絵本カーニバルin東田 「絵本を楽しみ、絵本で愛をつなぐ」 がコンセプト	子どもたちに読書の楽しさ、大切さを知つてもらうことを目的に絵本カーニバルを開催。約400冊の自由に読める絵本展示や音楽パフォーマンス、影絵音楽物語、人形劇、日替わりイベントやワークショップなどを開催する文化事業。
NPO法人かんかんむら かんかんむら幼稚園 代表理事 右田せい子	かんかんむらの音楽会	幼児を含む子どもから大人まで楽しめるピアノ演奏会や日常の音に耳をすまして聴いたり、生み出したり、音で遊ぶことを体験する音楽会を開催する文化事業。

助成の詳細および過去の助成実績は「1000人の夢寄金ホームページ」をご覧ください。

<https://www.kpec.or.jp/yume/>

## 1000人の夢寄金では皆様からの寄付金を募集しています。

### 《ご寄付の種類》

#### ①基本ご寄付(1年に一度)

◇個人・団体:1口 3,000円 ◇法人:1口 10,000円

※専用の「払込取扱票」による銀行振込(預金口座引落も可能)

#### ②ご遺贈などのご寄付

「遺贈」「香典返しに代えて」など、故人のご意思やご家族の思いをご寄付と共に頂戴しております。

### 《チャリティーゴルフの開催》

◇開催日:令和2年11月4日(水) ◇会場:若松ゴルフ倶楽部

### 《お問い合わせ先》

1000人の夢寄金 事務局 TEL:093-541-3122 FAX:093-541-0636

E-Mail:yume@kpec.or.jp ホームページ:<https://www.kpec.or.jp/yume/>

## 北九州の企業人が明日を担う子どもたちを支援する!

# 北九州の企業人による小学校応援団



北九州の企業人による  
小学校応援団  
(登録企業)  
**459社**

連携

北九州市  
教育委員会

### 支援事業

- 出前事業
- 体験学習／見学受け入れ
- PTA活動支援
- 親学支援
- 講師派遣
- 体験学習キャリアアップ支援

### 支援対象

- 児童
- 保護者
- 教員

次世代を担う子どもたちの健全な育成を図るうえで、特にその後の人間形成の基礎がつくられる小学校の時代は非常に重要な時期です。子どもたちが小学校の時期を大切に過ごすことができるようには、保護者(PTA)や教職員だけでなく、地域社会をあげて、みんなで心を一つにして支えあう環境づくりが必要です。このため、「北九州の企業人による小学校応援団」は、地元企業が志を持って結束し、小学校を支援することを目的として、平成23年10月に発足し、これまで支援対象校を拡大しながら活動を展開しています。

## 令和元年度の出前授業・研修実績

協力企業等の協力を得て、児童への出前授業、教職員・保護者(PTA)向けの出前授業・研修を実施しています。

- ◇支援対象校:129校(北九州市内の市立全小学校)
- ◇登録テーマ数:133テーマ(平成30年度 123テーマ)※小学校応援団HP参照ください。
- ◇実施件数:68校235件(平成30年度 253件)
- ◇協力企業数:459社(平成30年度 449社)
- ◇オリジナルテーマ実施件数:5校 10テーマ ※小学校側の希望に応じたオリジナルテーマ

## 出前授業を実施した小学校からの感想(抜粋)

### 理科 暮らしと地球環境を考えよう

#### 九州電力(児童の感想)

電気が熱・音・光などに変わることで、自分たちの生活の中でなくてはならないものだと改めて感じた。地球温暖化を少しでも止めたいという気持ちになった。



### 環境 生ごみのリサイクル～環境にやさしいしくみ～

#### 楽しい株式会社、アサヒカルピスウェルネス株式会社(児童の感想)

- ・生ごみが堆肥に変わることを知り、ごみを減らす意識をさらに強めることができた。
- ・実験を体験できたことで、理科にさらに興味や関心をもつ子どもが増え、狙いとしていた教科(社会・総合)以外にも大きな効果があった。



### 体育 走り方教室

#### 実業団陸上部及びOB会(北実会)

子どもたちの陸上競技に取り組む導入としてとてもよかったです。また、実際にトップレベルで競技をなさっていた講師の先生から聞くお話は、非常に興味深いものでした。

#### (児童の感想)

私は足が遅いことに悩んでいたので、こんな身近に足が速くなる基本的なことがあったんだと思いました。



### 生活 外国人との異文化交流(オリジナルテーマ)

#### YMCA北九州学院(児童の感想)

- ・たくさんの国の方に日本の食べ物や、遊びを紹介することができてよかったです。
- ・ゲストティーチャーの国のことでも質問することができて良かった。
- ・少人数のグループに1~2人のゲストティーチャーがまわる活動だったので、たくさん紹介できたり、質問することができた。



令和元年度のテーマ一覧および活動実績の詳細は「北九州の企業人による小学校応援団ホームページ」をご覧ください。  
<https://ouendan.gr.jp/>

## 環境を未来に引き継ぐ!

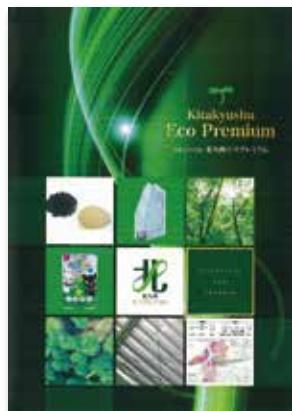
# もったいない総研

「もったいない総研」は、北九州市の様々な“価値あるモノ”をシビックプライドのコンテンツとして、その継承と活用を推進していきます。その一つとして、環境首都を目指す北九州市のエコマインドの普及・啓蒙のツールとしての北九州紙「えこっパー」のブランディングの向上に取り組んでいます。

## “北九州紙 えこっパー”の普及拡大

### 令和元年度北九州エコプレミアム “選定検討会委員特別賞”に選定!

“えこっパー”の普及拡大(PR)を目的に、令和元年度北九州エコプレミアムに応募し、「選定検討会委員特別賞」に選定されました。北九州エコプレミアム選定を契機に更なる普及拡大に取り組みます。



北九州エコプレミアムホームページ  
<https://www.kitaq-ecotown.com/ecopremium/>



## “えこっパー”販売実績

- ◇ 令和元年度販売数：190,784パック  
(前年比+3,032パック)
- ◇ 累計販売数：3,527,016パック  
(平成13年度～令和元年度)



## 大分製紙(株)様からの寄付

昨年に引き続き、“えこっパー”を製造・販売している大分製紙(株)様より、当協議会が運営する「1000人の夢寄金」へ20万円のご寄付をいただきました。



## 旧百三十銀行ギャラリーの指定管理

近現代建築物の保存・継承等のファシリティーマネジメントの企画・研究を目的に、(公財)北九州活性化協議会と特定非営利活動法人北九州市の文化財を守る会で旧百三十銀行ギャラリー管理運営共同事業体を編成し、旧百三十銀行ギャラリーの指定管理事業を行っています。

## 旧百三十銀行ギャラリーでは利用者を募集しています！

旧百三十銀行ギャラリーでは、広くみなさまのご利用をお待ちしています。

会社の展示会や社内の文化サークル等の活動発表会の場として、是非、ご活用ください！

《ご活用例》ギャラリー展示(美術・写真・書・活花等)、発表会・講演会・セミナー、音楽イベント、お茶会、ワークショップ等

《お問い合わせ先》北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

TEL:093-661-9130 FAX:093-661-9133 E-Mail:[info@130gallery.jp](mailto:info@130gallery.jp)

ホームページ:<http://www.130gallery.jp/index.html>

## 産業技術の保存継承・イノベーター育成

# 北九州イノベーションギャラリー指定管理

北九州イノベーションギャラリーでは、官営八幡製鐵所の世界文化遺産登録の紹介とあわせて、当地固有の歴史的風土と、そこに蓄積してきた「人材」「技術」「産業遺産」の3つの資産を活用しながら、企画展の開催やセミナー・工作教室・見学ツアーや連携イベントなど様々な事業を実施し、新たなイノベーションへ繋がる機会創出を図ります。

## 令和元年度の主な実績

- ◇利用者数 67,890名
- ◇企画展観覧者数 25,212名
- ◇教育プログラム参加者数 23,808名

## 企画展に関する事業

令和元年度は企画展4回と春の連動展2回、特別展1回を開催しました。

- ◇春企画展  
「すごいぞ!そっくり展」



- ◇夏企画展  
「気になるスポーツ道具展」



- ◇秋企画展  
「いろ色ひろがる印刷展」



- ◇冬企画展  
「第2回北九州技の達人展」



- ◇冬特別展 「令和元年度未来を見つめる高校生の作品展」



## 教育普及に関する事業

### イノベーションフォーラムの開催

科学、技術、産業等に関する先端的知見を提供し、自らイノベーションを志す人材を育成するため、「イノベーションフォーラム」を開催しました。

- ◇テーマ 「地図とイノベーション」

- ◇講 師 (株)ゼンリンDB企画部  
副部長 大原 浩幸



### 技術革新セミナーの開催

官営八幡製鐵所を含む明治日本の産業革命遺産が世界遺産に認定されたいきさつを技術革新の視点から解説するセミナーを開催しました。

- ◇テーマ 「明治日本の産業革命の世界文化遺産が何故広域認定となったかを語る」

- ◇講 師 独立行政法人国立科学博物館  
産業技術史資料情報センター長 鈴木 一義

### デザインセミナーの開催

デザインを表現として多角的に感じる機会を提供しました。

- ◇テーマ 「世界にひとつだけのランチョンマットを親子でデザインしよう」

- ◇講 師 北九州総合デザイナー協会 (3週連続シリーズ)



### デジタル工房関連

平成28年度にデジタル工房を開設して以降、自らのデザインを具現化するリピーター会員が増加し、地域のミニFabLabとして定着してきました。またスタッフのオリジナルデザインで開催するワークショップも盛況で幅広い世代のファン層が増加しています。今後も多様な階層の皆さんにデザインとモノづくりの楽しさを伝える活動を展開していきます。



### その他

市民セミナーや各種連携事業等を開催しました。

- ①市民セミナー

- 1) 産業映像上映会

「北九州オンライン企業物語Ⅱ」上映

- 2) 平成筑豊鉄道「ことこと列車」はなぜ大好評なのか?」

## ②各種連携事業等

「東田たらプロジェクト」、「技術士会との共催事業」、東田3館連携による「東田サマースクール」、「世界一行きたい科学広場」の開催や「ワークショップの出前」等を実施しました。



東田たらプロジェクト



技術士会との共催事業



東田サマースクール



世界一行きたい科学広場

## 調査研究に関する事業

産業技術の保存と次世代への継承を目的として、大学、国立科学博物館などと連携し、自主調査研究を行うとともに共同調査研究を行いました。また、平成30年度に実施した調査研究の報告会を開催しました。

### 調査研究

- ①「北九州における水ビジネス海外展開の歴史と発展」  
(公財)地球環境戦略研究機関 赤木 純子氏に委託
- ②「北九州におけるリサイクル技術の歴史と発展」  
北九州市立大学、九州産業大学の専門家及び  
北九州市内6企業に委託
- ③「北九州における近現代建築の地域資源としての見える化」  
九州工業大学の佐久間治教授他専門家に委託
- ④「自動車用ベアリング技術の系統化調査」  
国立科学博物館との共同研究



## 調査研究報告会

### ①「北九州における宇宙環境技術の歴史と発展」

◇報告者

九州工業大学教授 &  
宇宙環境技術ラボラトリー  
施設長 趙 孟佑



### ②「北九州における近現代建築の地域資源としての意味と評価」

◇報告者

九州工業大学工学研究院  
建築デザイン研究室教授  
佐久間 治



### ③「クロック技術の系統化調査」

◇報告者

独立行政法人国立科学博物館  
産業技術史資料情報センター  
前主任調査員 鈴木 哲郎



## 映像・図書収集および公開に関する事業

イノベーション・産業技術・デザインに関する図書および企画展と連動する図書の他、北九州企業の社史を積極的に収集しました。また、北九州の都市および産業発展と共に形成された近現代建築を紹介する映像を制作しました。

①図書の購入数 1,427冊  
(書籍980冊、雑誌447冊)

②図書の寄贈受入数 165冊  
(社内報45冊、報告書等75冊、一般書等45冊)

### ③映像の制作

2年間にわたって実施した「北九州の近現代建築」に関する調査研究内容をベースに、女優のえもと りえ氏をナビゲーターに起用し、北九州市主要部の産業史と近現代建築を紹介する作品「わたしの北九州」を制作しました。  
(日・英・中・韓の4カ国語、約30分)



映像はYouTube「わたしの北九州」をご覧ください。  
<https://www.youtube.com/watch?v=G4czkLVcy4A>

# 戦後75年記念 北九州市の戦争遺跡写真パネル展



高蔵山堡壘の倉庫群/明治期の要塞(小倉南区沼)



造兵廠の工場  
昭和期(小倉北区大手町)



総牟田高射砲陣地の高射砲座  
昭和期(若松区小竹)



牧山高射砲陣地の高射砲座  
昭和期(戸畠区牧山展望公園内)



海上特別攻撃兵器  
「四式連絡艇」格納庫  
昭和期(門司区大積)

開催期間：令和2年8月8日(土)～8月16日(日)

開館時間：午前10時～午後6時(但し8日(土)は、午後12時から)

会場：北九州市立旧百三十銀行ギャラリー

北九州市八幡東区西本町1-20-2 電話 093-661-9130

ホームページ <http://www.130gallery.jp/index.html>

入場料：無料